

地消地産

氷見市の循環型の発展を図る

地元氷見で消費されるものは、
地元氷見で生産する。

JA氷見市

氷見愛をこめたやさしい飲み物 「氷見ハトムギ」の歴史

氷見ハトムギのルーツは、昭和60年代の細越地区。山間部の転作作物として始まり、焙煎茶「佛生寺湯」として加工販売されていました。

平成16年に、ハトムギを氷見市の地域振興のための最重点作物に指定し、平成18年に、JA氷見市がペットボトル飲料「氷見はとむぎ茶」の販売を開始。ハトムギ生産を拡大するため、最終製品を具体化して販路を確保する販売戦略と、農家の収益を確保しながら栽培技術を確認する生産戦略を同時展開しました。

氷見で栽培し、JA氷見市が加工販売。「氷見はとむぎ茶」は、多くの氷見市民にご支援をいただく氷見の飲料となっています。



また、売上げ金の一部から保育園児のお昼ごはんの米代金等、食農教育へ指定寄付を通じて、地域還元しています。



ハトムギのはたらき

ハトムギは、2~3世紀ごろに書かれた中国の医学書「神農本草経」において、『身体を快調にして、不老長寿に効果があるもの』という意味の「上薬」に区分されています。日本に伝来したのは、江戸時代の中頃。徳川八代將軍吉宗により、外来薬種の国産奨励が行われ、各地で栽培が広がったと伝えられています。

そもそもハトムギはトウモロコシに近い、イネ科の一年草で、麦ではありません。タンパク質が米の2倍という点を除けば、米とほぼ同じ栄養組成です。カルシウム、ビタミンB1、B2、鉄分、食物繊維なども豊富に含まれています。高齢社会を迎え、健康・美容食材として、アンチエイジングなどへの効果も期待されています。

氷見産ハトムギを使った関連商品

氷見はとむぎ茶

ペットボトル

ティーバッグ



1本<500ml> 1本<350ml>



細越地区産(200g) 氷見市産(120g)
<10g×20包入> <10g×12包入>



JA全農とやま開発商品

はとむぎ豆乳飲料

1本<125g>



はとむぎ煎餅

氷見はとむぎの里

1袋<15枚入>

「氷見産ハトムギ商品」のお問い合わせは、JA氷見市最寄りの各事業所まで

▶JA氷見市
ホームページ



氷見支所 Tel.0766-74-8750
稲積支所 Tel.0766-74-8753
余川支所 Tel.0766-74-1243
碓石支所 Tel.0766-74-1244
窪支所 Tel.0766-91-1245
柳田支所 Tel.0766-91-1247

島尾支所 Tel.0766-91-1248
田子支所 Tel.0766-91-1249
神代支所 Tel.0766-91-1251
仏生寺支所 Tel.0766-91-1253
布勢支所 Tel.0766-91-1254
十二町支所 Tel.0766-91-1255

上庄支所 Tel.0766-74-1257
丸三支所 Tel.0766-76-1201
双光支所 Tel.0766-76-1301
速川支所 Tel.0766-76-2001
久目支所 Tel.0766-76-2211
阿尾支所 Tel.0766-74-8770

敷田支所 Tel.0766-74-1263
宇波支所 Tel.0766-78-1331
女良支所 Tel.0766-79-1341
八代支所 Tel.0766-95-1211
資材課 Tel.0766-74-8893
JAグリーンひみ Tel.0766-72-4831